



座間市議会だより

No.140

平成19年5月15日

発行 座間市議会

編集 議会だより編集委員会

座間市緑ヶ丘1-1-1

電話046(255)1111(代表)



大風まつり (H19. 5 相模川河川敷)

3月定例会

十九年度 総額601億7千万円を可決

協働まちづくり条例など23議案

第一回定例会は二月二十二日に開会し、市長提出議案二十三件、議員提出議案十二件、陳情八件を審議して、三月二十三日に閉会しました。この定例会では、平成十九年度の市政を決める各会計予算、平成十八年度の各会計補正予算、選挙管理委員会及び補充員の選挙、協働まちづくり条例の制定や条例改正など、それぞれ活発に議論しました。

平成十九年度各会計予算

平成十九年度当初予算は、三月二十三日の本会議で決定しました。その内容は、一般会計と特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額が、六百一億七千七百三十三万八千円と前年度に比べ一・六%の増額となっています。一般会計は、三百九億八千九百六十万二千円、前年度比〇・八%の減、国民健康保険事業特別会計は、百二十四億六千八百四十三万二千円、前年度比二・五%の増、老人保健特別会計は、五十二億五千八百三十三万三千円、前年度比五・九%の減、公共下水道事業特別会計は、四十億三千九百八十八万二千円、前年度比三・八%の減、介護保険事業特別会計は、四十一億九千二百九十三万七千円、前年度比四・二%の増、水道事業会計は、三十二億六千四百五十三万三千円、前年度比四・三%の増となっています。(下表参照)

一般会計

採決の結果、各会計予算とも賛成多数で可決しました。

市税収入については、前年度比一四・一%増の百九十億八千九百二十九万三千円を見込み、歳入総額に占める割合は六一・六%で、前年度比八ポイントの増となっています。市税のうち、個人市税については、三位一体改革による税源移譲として措置された住民税率のフラット化や平成十七年度税制改正による個人住民税の定率減税廃止などにより、十六億七千万円余の大幅な増収が見込まれるなど個人市税全体では、二五・一%増の八十四億五千九百三十三万九千円を計上しています。歳出では、投資的経費が前年度比二二・六%減の十億六

千二百八十五万七千円となっています。さらに、消費的経費全体では、前年度比〇・三%減の二百九十九億二千六百七十四万五千円、その主なものは、物件費が四十二億六千三百二十七万九千円、補助費等が十九億二千七百九十二万五千円、人件費については、総額八十一億二千五百九十一万二千円となっています。

国民健康保険事業特別会計

経済情勢は回復基調にあると言われる中で、被保険者数は頭打ち傾向が見られるものの、加入世帯数については市全体の四八%を占めています。医療費についても、加入者の高齢化や医療技術の高度化などにより医療費の増加が続き財源確保が非常に厳しい財政運営が続いています。

老人保健特別会計

老人保健法の改正により対象年齢が引き上げられ、年間平均受給者を微増と見込んでいます。受給者一人当たりの医療費は、六十五万四千三百七十七円となっています。

公共下水道事業特別会計

本年度予定区域の汚水整備が終了すると、市街化区域の九四・三六%が整備されます。昨年に引き続き、都市型浸水被害解消のため、雨水管整備を中心に実施されます。

介護保険事業特別会計

本年度は第三期介護保険事業計画の二年目に当たり、介護保険事業の円滑な運営、充実に向けた予算編成となっています。

水道事業会計

収入予算総額二十四億七千七百四十八万八千円、前年度比一六・五%の増を計上し、老朽化した施設の整備を行い安全で安定した給水に引き続き取り組んでいきます。

平成19年度各会計当初予算

(単位：千円)

区分	平成19年度	平成18年度	増減	増減率(%)
一般会計	30,989,602	31,223,911	△234,309	△0.8
特別会計				
国民健康保険事業	12,468,431	11,080,312	1,388,119	12.5
老人保健	5,215,833	5,544,903	△329,070	△5.9
公共下水道事業	4,039,882	4,197,701	△157,819	△3.8
介護保険事業	4,192,937	4,024,763	168,174	4.2
小計	25,917,083	24,847,679	1,069,404	4.3
水道事業会計	3,264,053	3,129,266	134,787	4.3
合計	60,170,738	59,200,856	969,882	1.6

平成19年度一般会計歳入歳出構成図

